

# ちょっと昔のおもしろ道具

「むかしの道具を見て聴いて触ってみよう」

7/6  
(土)

「家庭の娯楽  
～蓄音機・ラジオ・レコード～」



**内 容** 1877（明治10）年7月31日はトーマス・エジソンが蓄音機の特許を取得した「蓄音機の日」です。ここから「録音」の歴史が始まりました。蓄音機とはレコードから音を再生する装置です。好きな場所で音楽を聴くことができる娯楽の道具として、各メーカーは音質・デザインに工夫を凝らし蓄音機を製造しました。また、1925（大正14）年に国内初のラジオ放送が始まってからもうすぐ100年になります。ラジオはかつてテレビが普及する1960年頃までは、蓄音機とならび日本の家庭の娯楽の中心であり、主役であり続けました。博物館には昭和期の様々な種類の蓄音機、ラジオ受信機、レコード盤が寄贈・展示されています。当時の人々の娯楽の道具を身近にご覧ください。当日は昭和20～30年代に発売された手回し蓄音機やラジオ付き電気蓄音機から流れるレコードの音を聴くことができます。

**日 時** 令和6年7月6日（土）10:00～15:00

**場 所** 島田市博物館 分館

**対 象** どなたでも参加大歓迎（参加者多数の場合は少し待っていただく場合があります）

**参加料** 観覧料のみ（中学生以下は観覧料無料）

詳細はホームページをご覧ください。

〒427-0037 静岡県島田市河原2丁目16番5号 TEL・FAX (0547) 34-3216

**島田市博物館分館**